

バーリントン・ハウスに関する研究 ―設計者の検討―

日本女大家政 野々山 玲子

目的 英国17世紀の代表的なカントリー・ハウスであるバーリントン・ハウス(Burlington House)は、今日においてもその設計者が明らかでない。最終的な持ち主となる、第一代バーリントン伯爵(the first Earl of Burlington)がどのような住まい方をしていたかを考究するためにも、その設計者について考察する必要がある。その設計に関する事実の可能性として、5つの仮説をたて、それぞれの比較を含めて各説について検討し、それらの妥当性を考察する。

方法 今回は、建設当初から現代に至るまでバーリントン・ハウスの調査を詳細に行っている「サーヴェイ・オブ・ロンドン(Survey of London)」を中心として、17世紀英国貴族の日記、および建設費に関する資料等、バーリントン・ハウスに関する文献・資料に散見される記述全てをもとにしながら、その設計者のあらゆる可能性を導き、そこから仮説を組み立てて、検討を試みる。

結果 土地の最初の持ち主であるジョン・デナム(Sir John Denham, -1668)が、バーリントン・ハウスの設計に何らかの形で従事したことが明らかとなったばかりでなく、さらに17世紀の代表的な建築家であるヒュー・メイ(Hugh May, 1622-84)、あるいはジョン・ウェッブ(John Webb, 1611-1672)が、第一代バーリントン伯爵との関係から、バーリントン・ハウスの設計に関わりがある可能性が考えられることを明らかにした。